

第6回 駒寄スマート I C地区協議会 次第

日時：令和5年12月14日（木）

午前 10：30

場所：前橋市役所 4F 庁議室

1 開 会

2 挨 拶

3 委員紹介

4 議 事

（1）委員の改正について

（2）第一回フォローアップについて

5 その他

6 閉 会

令和5年度駒寄スマートIC地区協議会 委員名簿

令和5年12月14日現在

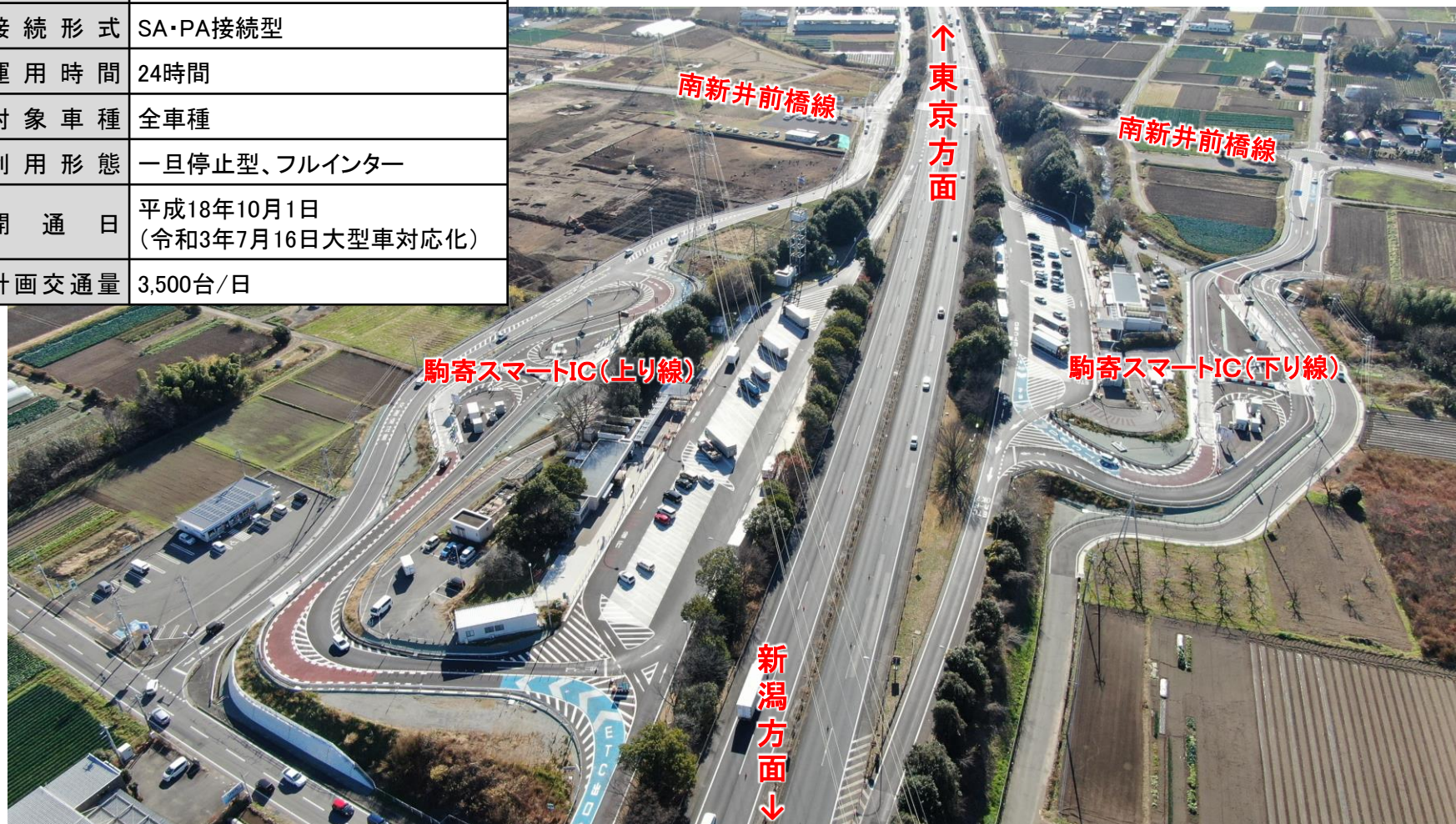
	役職	所 属 ・ 職 名 等
1	会長	前橋市長
2	副会長	吉岡町長
3	委員	国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長
4	委員	国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所長
5	委員	東日本高速道路株式会社 関東支社 総合企画部 総合企画課長
6	委員	東日本高速道路株式会社 関東支社 管理事業部 管理事業統括課長
7	委員	東日本高速道路株式会社 関東支社 高崎管理事務所長
8	委員	群馬県 県土整備部 都市計画課長
9	委員	群馬県 前橋土木事務所長
10	委員	群馬県 渋川土木事務所長
11	委員	群馬県警察本部 交通部 交通規制課長
12	委員	群馬県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊長
13	委員	群馬県警察 前橋警察署長
14	委員	群馬県警察 渋川警察署長
15	委員	前橋商工会議所 会頭
16	委員	吉岡町商工会 会長

駒寄スマートインターチェンジ 第6回地区協議会

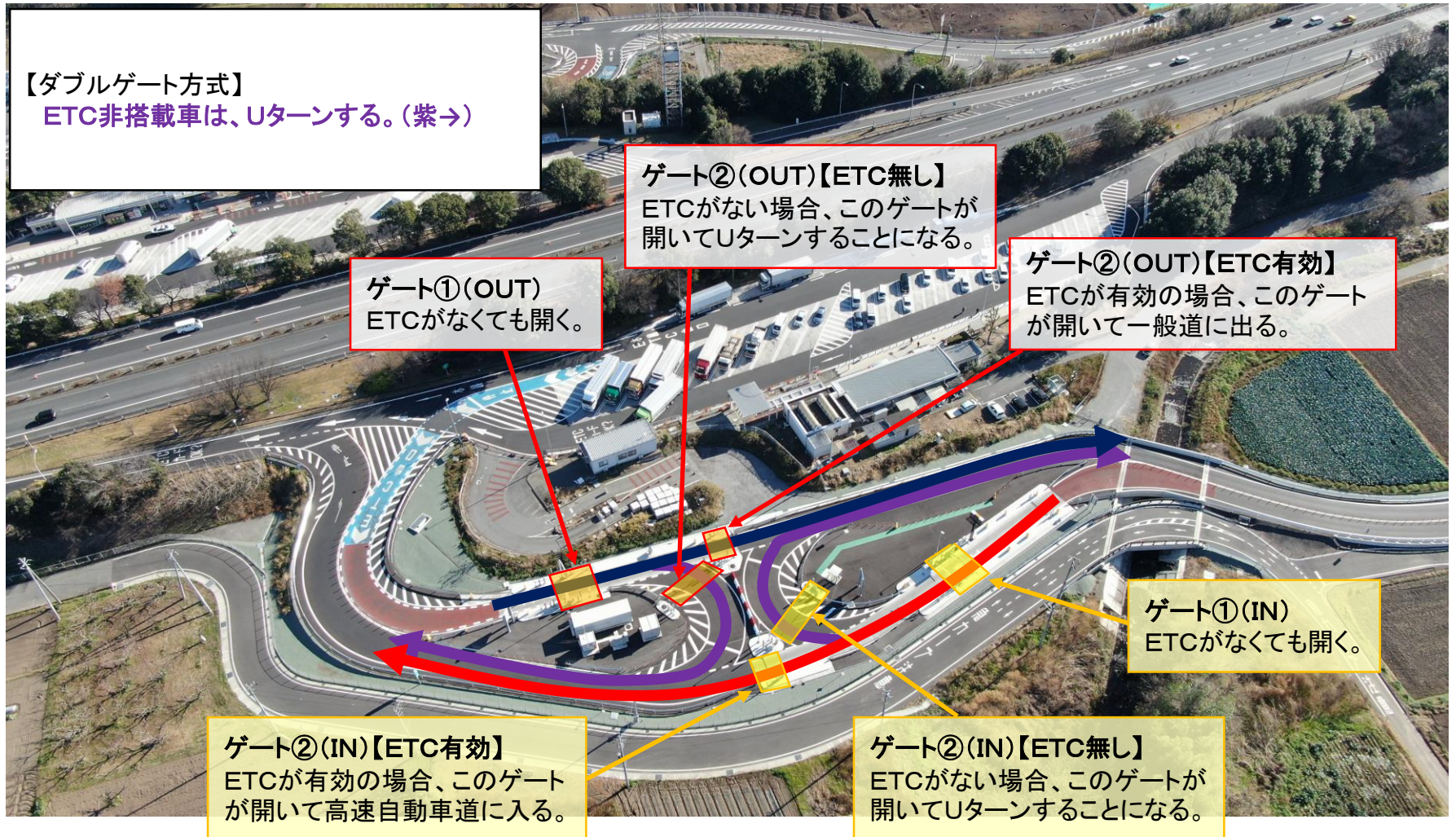
令和5年12月14日

駒寄スマートインターチェンジの概要

路線名	関越自動車道 新潟線 (前橋IC～渋川伊香保IC間)
連結位置	群馬県前橋市、吉岡町
接続形式	SA・PA接続型
運用時間	24時間
対象車種	全車種
利用形態	一旦停止型、フルインター
開通日	平成18年10月1日 (令和3年7月16日大型車対応化)
計画交通量	3,500台/日



駒寄スマートインターチェンジの概要

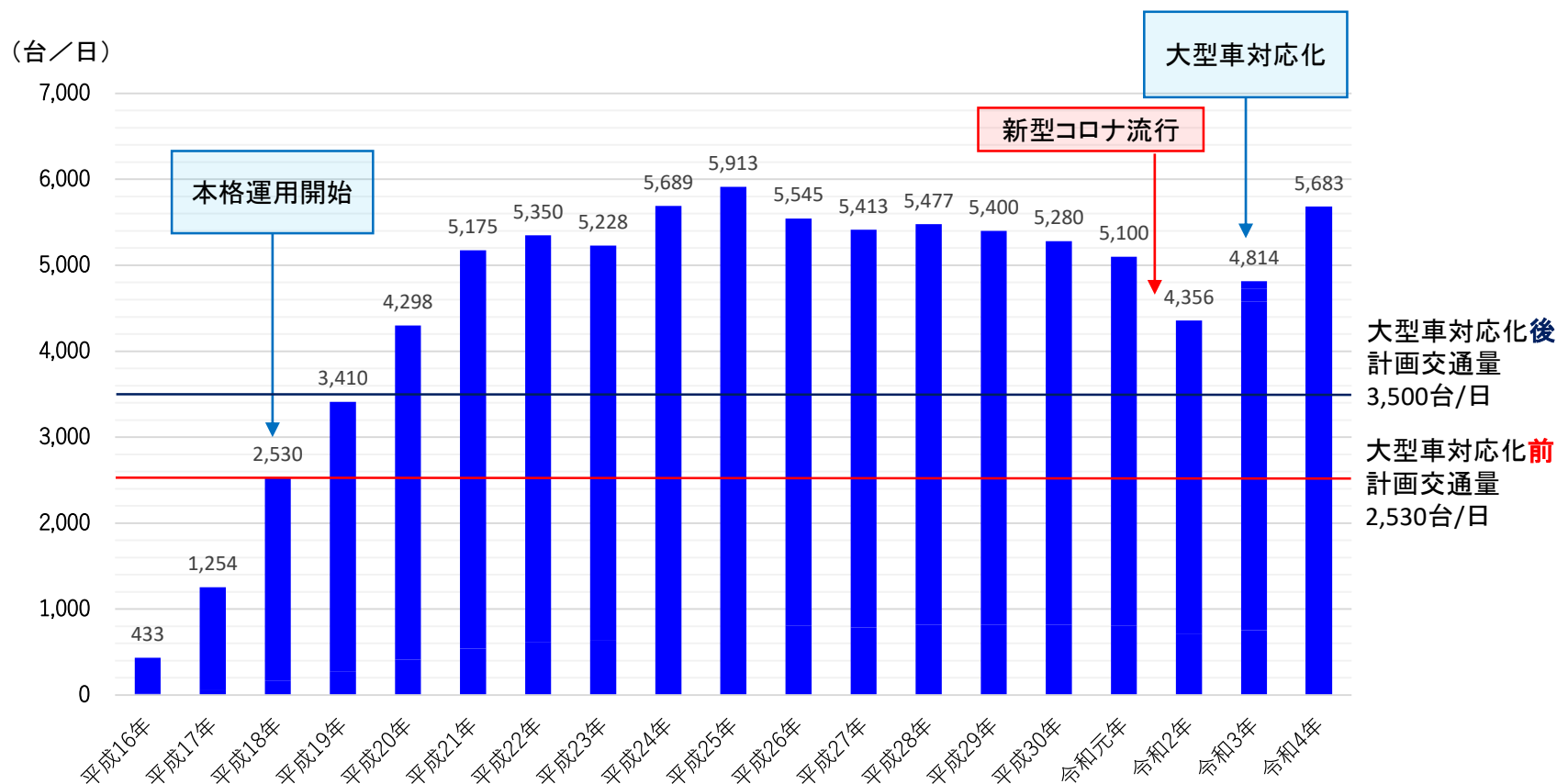


フォローアップの内容

- 1) 利用状況について
- 2) 整備効果について
- 3) 利用促進方策について

利用状況について

① 駒寄スマートIC 全車種の出入交通量（平均利用台数／日）



出典：NEXCO東日本データ

コロナ禍以前はおおむね横ばいだが、コロナ禍に入り減少傾向にあるため、引き続き推移の把握が必要である。

利用状況について

② 前後IC別 全車種の出入交通量（平均利用台数／日）



出典：NEXCO東日本データ

	前橋IC	駒寄SIC	渋川伊香保IC	合計
① 駒寄スマートIC開通前 (H14.7～H15.6)	17,457台/日	—	14,899台/日	32,356台/日
② 大型車対応化前 (R2.7～R3.6)	18,436台/日	4,485台/日	12,023台/日	34,944台/日
③ 大型車対応化後 (R3.7～R4.6)	18,657台/日	5,169台/日	12,156台/日	35,982台/日
増減 (①と③との比較)	+1,200台/日 (+6.9%)	+5,169台/日 (— %)	−2,743台/日 (−18.4%)	+3,626台/日 (+11.2%)
増減 (②と③との比較)	+221台/日 (+1.2%)	+684台/日 (+15.3%)	+133台/日 (+1.1%)	+1,038台/日 (+3.0%)

駒寄スマートICについては、大型車対応化前後で利用台数が約15%増加した。
また、隣接ICについても利用台数の増加が見られる。

整備効果について

社会便益 (整備効果)	内容	具体的な 指標	使用データ等	整備効果の 検証時期	
				今回	次回 以降
時間短縮による 利便性向上	周辺地域の既存の商業施設や工業団地等の物流における利便性の向上	併走する市道の交通量の変化	道路交通センサス (H22～R3)	○	
地域活性化への寄与	駒寄スマートICに直結した産業団地の計画、大型商業施設の進出の実現	産業団地、商業施設の進出状況	—	○	
	観光地、スポーツ・レジャー施設への大型バスのアクセス性向上による観光等の振興	観光地、施設へのルート	—	○	
安全で安心できる 暮らしの確保	陸上自衛隊(相馬駐屯地)の災害時救援活動の迅速化	活動実績、所要時間	—	○	
	防災拠点(群馬県地域防災センター・道の駅)との緊急輸送ネットワークの形成・強化	拠点との位置関係	—	○	

整備効果について

① 周辺地域の既存の商業施設や工業団地等の物流における利便性の向上

駒寄スマートICの周辺や前橋市北部に位置する商業施設等の物流は、駒寄スマートICの利用により前橋市街地の渋滞箇所を回避することで時間短縮ができる。

既存商業施設

自動車関連店舗(7件)

ネットトヨタ群馬、Honda Cars 群馬、マイカープラザ前橋、富士スバル、Honda Cars 群馬 U-Select、ガリバー、日産プリンス群馬販売

ガソリンスタンド(3件)

コスモ石油、群馬商事、ENEOS

大規模小売店舗(10件)

カインズ、ケーズデンキ、ドン・キホーテ、フレッセイ、スポーツデポ、蔦屋書店、カワチ薬品、ファッション市場サンキ、靴のシューマート、DAISO

※所要時間は、
一般道 30km/h
高速自動車道 80km/h
で計算。

SIC利用ルート

走行距離: 12.1km
所要時間: 14分



既存商業施設

自動車関連店舗(8件)

スズキ自販群馬、群馬三菱、Honda Cars 群馬、フォルクスワーゲン、タイヤ市場、タイヤ館、TAX前橋、ラビット

ガソリンスタンド(1件)

ENEOS

大規模小売店舗(4件)

クスリのアオキ、蔦屋書店、セキチュー、ヤオコー

SICを利用しないルート(1)

走行距離: 11.5km
所要時間: 22分

SICを利用しないルート(2)

走行距離: 9.2km
所要時間: 18分

整備効果について

① 周辺地域の既存の商業施設や工業団地等の物流における利便性の向上

	自動車類交通量(台/12h)						
	乗用車類		貨物車		合計	内 大型車	大型車 混入率
	乗用車	バス	小型 貨物車	大型 貨物車			
H22 センサス	17,428	60	2,931	1,353	21,772	1,413	6.5%
H27 センサス	15,563	30	2,575	1,145	19,313	1,175	6.1%
R3 センサス	14,556	20	2,048	910	17,534	930	5.3%
H27→R3 増減	-1,007	-10	-527	-235	-1,779	-245	

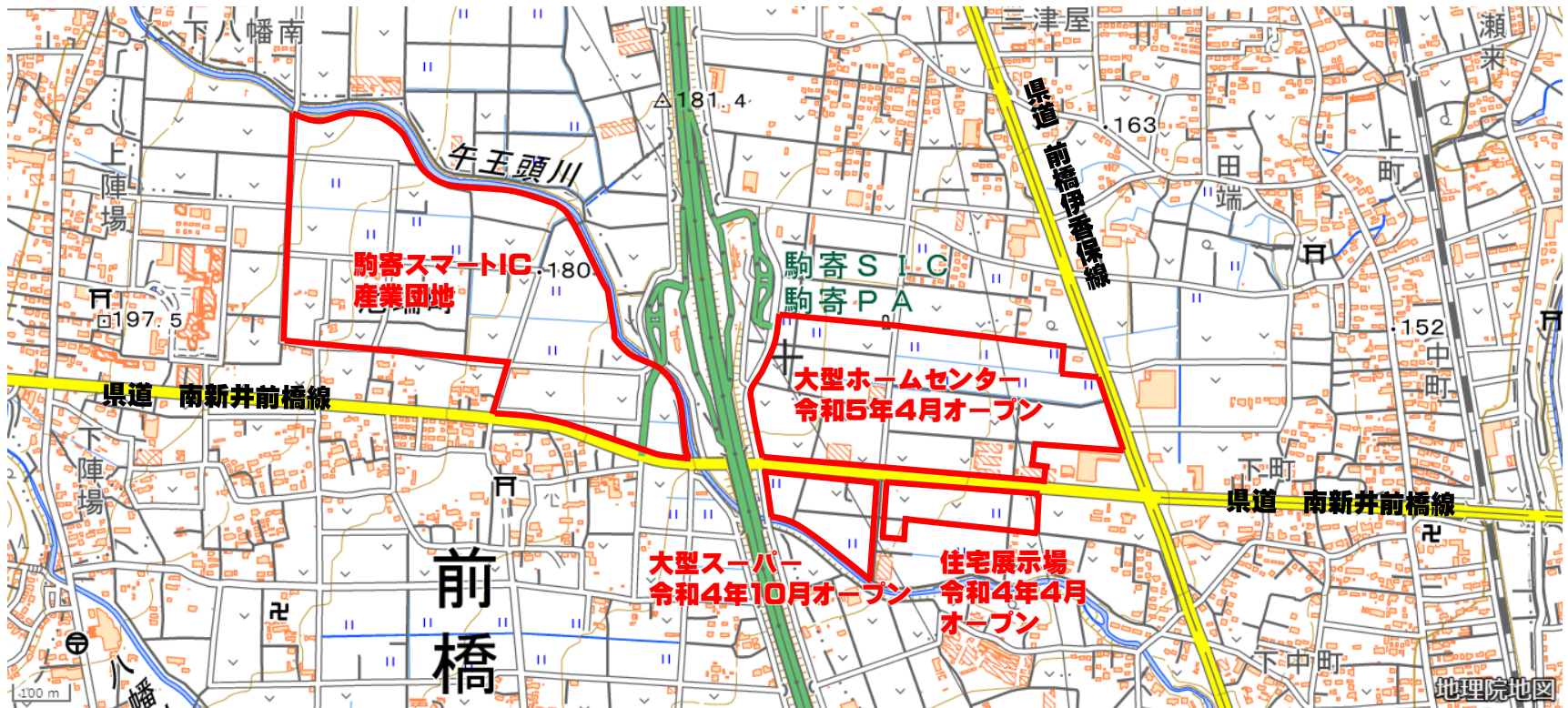
H27とR3を比較すると、市道00-142号線※を利用する大型車の交通量は245台/12h減少しており、大型車混入率も0.8%の減少が見られた。

※市道00-142号線(地図上赤線部分)は、前橋市の高井町一丁目交差点から問屋町交差点までの約3.0kmの前橋市道で、「産業道路」と呼ばれる道路に含まれる。



整備効果について

② 駒寄スマートICに直結した産業団地の計画、大型商業施設進出の実現



駒寄スマートIC周辺に、大型商業施設等が新規開店している。
また、前橋市では産業団地の開発を予定しており、駒寄スマートICの大型車の利用が増加することが予想される。

整備効果について

④ 陸上自衛隊（相馬駐屯地）の災害時救援活動の迅速化

駒寄スマートＩＣの西側約４kmの位置に陸上自衛隊第１２旅団司令部の相馬原駐屯地があり、この駐屯地から大型車両による災害支援を行った実績がある。

大型車両が駒寄スマートＩＣから高速道路に乗り入れ可能となったことで、首都直下地震の発生時など、これまで以上に迅速な対応が可能となる。

なお、南新井前橋線４期工区が令和８年供用開始予定であり、供用開始後は駒寄スマートＩＣへのアクセスが更に向上し、これまで以上に迅速な対応が可能となる。



整備効果について

⑤ 防災拠点（群馬県地域防災センター・道の駅）との緊急輸送ネットワークの形成・強化

- 群馬県地域防災センターや道の駅などの防災拠点から高速道路までのアクセス性向上により、緊急輸送ネットワークの形成・強化が図られる。



利用促進方策について

■ 現在の取組状況

- ・ 前橋市YouTubeに空撮映像を掲載
- ・ 前橋市、吉岡町ホームページで周知



図. 前橋市YouTubeの画面
平均視聴回数: 87回/月
(R3.7~R5.6)

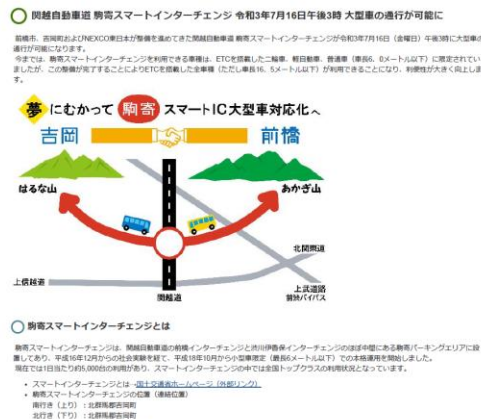


図. 前橋市HPの画面
平均訪問回数: 121回/月
(R3.7~R5.6)

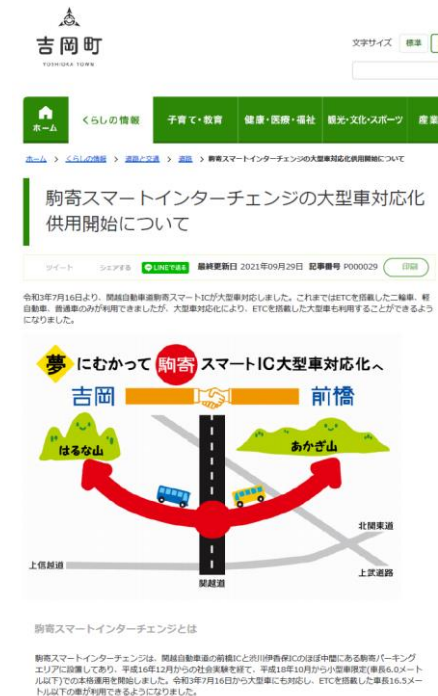


図. 吉岡町HPの画面

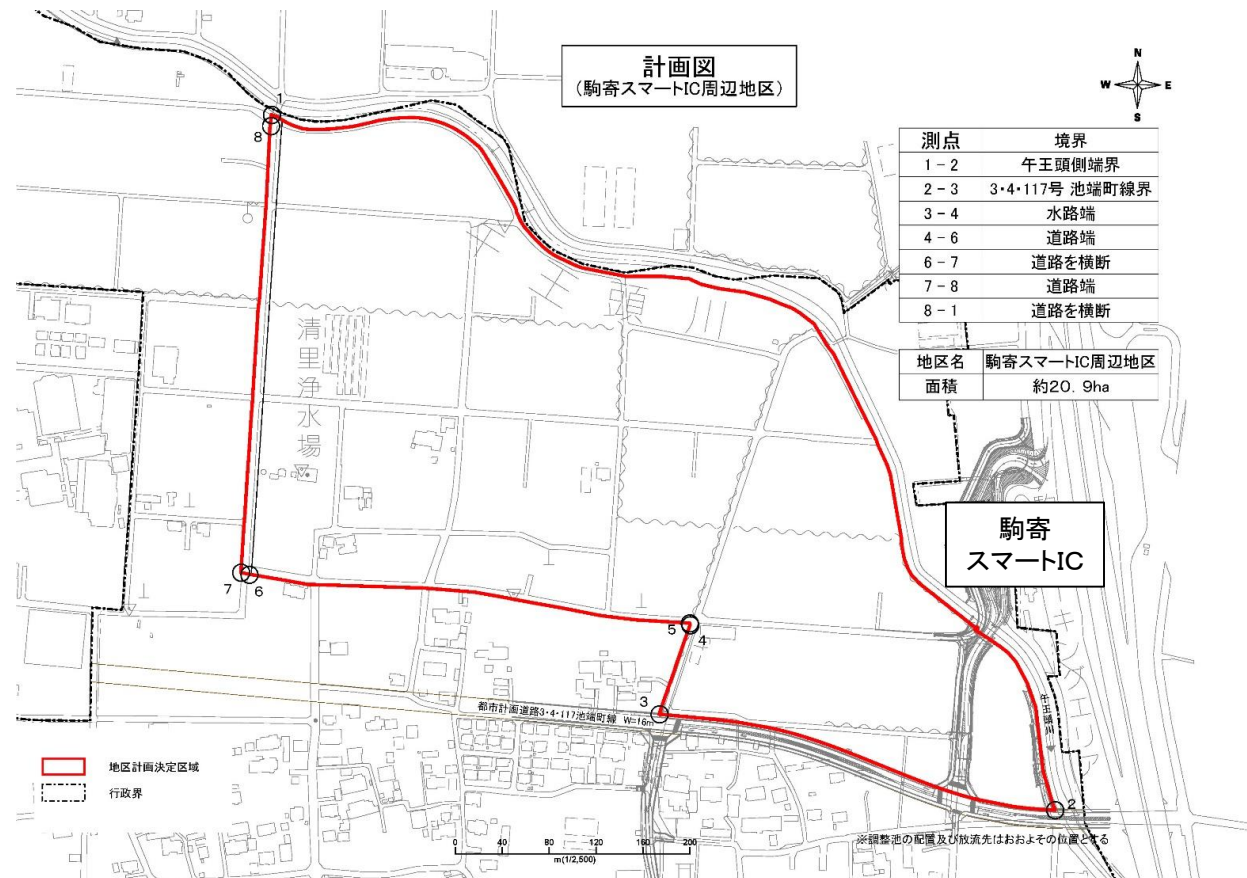
利用促進方策について

■ 今後の取組

- ・ 駒寄スマートIC西側に前橋市産業団地造成計画
(名称:駒寄スマートIC産業団地)

令和4年3月25日付けで都市計画区域区分が市街化区域に、用途地域が工業専用地域に変更となりました。

また、令和4年9月26日付けで「前橋都市計画工業団地造成事業」として、群馬県により事業認可され、10月以降、用地買収に着手しています。



利用促進方策について

■ 今後の取組

- ・ 県道南新井前橋線バイパス整備予定

- ・ 県道南新井前橋線

現在、3期工区までが完了している。4期工区は令和8年度完成を目標に整備中。陸上自衛隊相馬原駐屯地を出発する自衛隊車両などの駒寄スマートICへのスムーズな走行が可能になる。

